

EU 代表部アドバイザー プロジェクトモニタリングレポート

2026 年度 第 1 回(2026 年 3 月のトレンド)



Eurovision & Associates

2026 年 4 月

目次

〈要点〉	1
〈分野別動向〉	4
1. 食品/FOOD	4
2. 環境/ENVIRONMENT	4
3. 農業/AGRICULTURE	5
4. 貿易/TRADE	6
5. 公衆衛生/PUBLIC HEALTH.....	8
6. 漁業/ FISHING	10
7. アニマルウェルフェア/ANIMAL WELFARE.....	11
8. ウクライナ情勢/THE SITUATION IN UKRAINE	11
9. 食品包装・食品接触材/PACKAGING・FOOD CONTACT MATERIAL.....	12
10. 補助金/AID	12
11. その他/OTHERS	13

〈要点〉

EU 域内政策			
EU 法	進捗	EU 機関	日付
殺生物剤の規制簡素化	自らの立場/交渉方針に合意	EU 理事会	03/04
欧州気候法改正案	採択	EU 理事会	03/05
食品サプライチェーンにおける農業者の立場を強化するための措置	暫定合意	欧州議会/EU 理事会	03/05
AI 食品安全プラットフォーム「Trace Map」の立ち上げ	プラットフォーム設立の発表	欧州委員会	03/10
漁業および養殖統計に関する新たな枠組み	自らの立場/交渉方針に合意	EU 理事会	03/18
水質汚染規制（汚染物質リストの更新）	採択	欧州議会	03/26
「農業と食のビジョン」の進捗	認識の共有	EU 理事会	03/30
包装および包装廃棄物規制に関するガイダンス	規制実施方針の公表	欧州委員会	03/30

2026 年 3 月、EU は、気候変動、農業、食品安全、農薬、食品のサプライチェーンにおける農業者の立場、環境、漁業などの各分野において、幅広く域内政策を推進した。

まず 3 月 4 日、EU 理事会は、健康および環境基準を維持しつつ行政上の負担を軽減することを目的とした EU の「オムニバス X」簡素化パッケージの一環として、殺生物剤に関する規則の合理化に取り組んだ。具体的には、データ保護期間を 2030 年まで延長する交渉方針に合意した。この延長により、データ保護は 2030 年末まで行われる殺生物剤有効成分の継続的な見直し作業と整合させ、データ所有者への公正な補償を確保する。また、EU の殺生物剤規則の全体的な評価に先がけて行うことで、規制の確定性が提供される。

また、同日、欧州議会と EU 理事会は、EU の食品サプライチェーンにおける農業者の立場を強化するための新たな措置について暫定的な合意に達した。この交渉は、不公正な取引慣行に関する規則の見直しと一体的に進められてきた。内容的には、契約を生産コストとより密接に結びつけ、買い手との交渉における生産者団体の役割を強化することで、より公正な価格の確保を目指すものである。特に乳製品部門において、より公正な価格設定メカニズム、生産者組織の強化、契約規則の改善などが図られる。また、この暫定合意が得られた条文では、肉を「動物の食用部分」と定義し、ステーキやレバーといった名称は肉を含む製品に限定され、培養肉製品は除外されなければならないと規定するなど、より明確な表示規則としている。さらに、書面による契約の義務化を通じて酪農家を支援し、収入の安定化を図る条項も盛り込まれている。

一方、3月10日、欧州委員会は、食品の不正を検知し、EU全体のサプライチェーンにおける食品安全監視を改善するために設計されたAI（人工知能）プラットフォーム「TraceMap」を立ち上げた。このシステムは、「RASFF（食品・飼料緊急警報システム）」や「TRACES（第三国からEUへ輸入される農産物・食品などについて、検査証明書や衛生証明書などを管理するオンラインシステム）」といった既存のEUプラットフォームからのデータを分析し、不審な取引パターンを特定し、サプライチェーンの追跡や製品のリコールの迅速化に資するものとなる。

3月30日に開催された農漁業理事会では、欧州委員会が発表してから一年が経過した「農業と食のビジョン」の進捗状況を検証した。出席閣僚は、レジリエンス、競争力、食料安全保障の向上に向けた取り組みを評価するとともに、地政学的緊張、中東紛争、市場の変動、気候変動に伴う圧力などがもたらす課題にも言及した。また、世代交代、共通農業政策（CAP）の簡素化、および上述の通りサプライチェーンにおける農業者の立場を強化するための措置における進展を歓迎したが、さらなる取り組みを求めた。同理事会はまた、貿易に関連する農業問題についても議論し、サプライチェーンへのリスクや生産コストの上昇を強調した。出席した加盟国代表は、貿易協定におけるセーフガード措置、より強力な互惠ルール、国境管理の強化、および第三国に対する監査の強化を支持した。

EU 域外政策

国際協定	進捗	EU 機関	日付
グローバルな海洋モニタリング・イニシアティブ「OceanEye」	運用開始発表	欧州委員会	03/02
EU-メルコスール 農業に関するセーフガード規則	規則の採択	EU 理事会	03/05
EU-カナダパートナーシップ	外務委員会報告書の採択	欧州議会	03/12
EU・オーストラリア安全保障・貿易協定	交渉終結	欧州委員会	03/24
EU 関税庁の設置（仏リール）	合意	Parliament / Council 欧州議会/EU 理事会	03/25
EU 関税法の改正	暫定合意	欧州議会/EU 理事会	03/26
EU-米国貿易協定	立場の採択	欧州議会	03/26
EU 畜産業界の強化・維持戦略	農業委員会決議の採択	欧州議会	03/18

域外政策分野では、3月2日、EUはHorizon Europeから5,000万ユーロの支援を受け、「オーシャンアイ（OceanEye）」イニシアチブを立ち上げ、世界の海洋監視と海洋の持続可能性の強化を図ると発表したことが注目される。このイニシアチブは、EUの地球観測プログラム「コペルニクス」や「海洋のデジタルツイン」

といった既存のツールを基盤とし、気候モニタリング、海上保安、およびブルーエコノミーの持続可能性の向上を目指すものである。

また、3月には、以下のように、二国間貿易協定と関税政策を巡って様々な動きがみられた。

- 3月5日、EU 理事会は EU・メルコスール協定に基づくセーフガード措置を採択し、輸入の有害な急増から EU の農家を保護するための迅速な対応を可能にした。
- 3月12日、欧州議会は、地政学的緊張関係の高まりを背景に、安全保障、貿易、エネルギー分野における EU とカナダのより深い協力を求めるとともに、EU・カナダ貿易協定の批准を促した。
- 同月下旬、EU はオーストラリアとの包括的自由貿易協定の交渉を妥結させ、海上安全保障、重要原材料、技術分野での協力を含む「安全保障・防衛パートナーシップ」を発足させ、両国の戦略的関係を強化した。
- EU-米国ターンベリー貿易協定に基づく関税引き下げについて、欧州議会貿易委員会は、EU 産業を保護するためのセーフガード条項、サンセット条項、遵守条項を含む厳格な条件を設定した。

関税政策を巡る主な動きは以下の通り。

- 3月25日、欧州議会と EU 理事会は、新たな EU 関税庁をフランスのリールに設置することで合意した。同庁は、輸入事業者が通関に必要なデータを提出する EU の単一窓口として機能する「EU の中央税関データハブ」を管理する。そして、このデータを活用し、通関検査を引き続き実施する加盟国の関税当局と情報を共有し、EU 規制に反する違法な製品や麻薬の密輸などに関するリスク管理を包括的に行う。
- 3月26日、EU 関税法の改正に関する暫定合意が成立し、オンラインプラットフォームを輸入業者として扱うこと、中央税関データハブの設立、リスク管理の改善など、電子商取引に関する新たな規則が導入された。欧州委員会はこの関税法の改革として歓迎し、2026 年から 2034 年にかけて段階的に実施することとしている（遅くとも 2026 年 11 月 1 日までに徴収開始、データハブは 2031 年に任意利用、2034 年に義務化とされている）。

最後に、欧州議会農業委員会が、EU 畜産業界の対外的競争力を維持・強化するための EU による新たな措置を求める決議を行ったことが注目される。同委員会は、共通農業政策（CAP）の予算支援を維持するとともに、イノベーション、精密農業、生産性に焦点を当てた科学に基づく戦略を提案した。また、動物衛生分野における連携の強化、アニマルウェルフェアや健康・環境などの EU の基準を反映したより公正な貿易条件の確立、EU 産畜産物の販促活動の充実も求めた。その他にも、ハイレベルな畜産グループの設置、ワクチン接種および疾病監視システムの強化、持続可能性への支援なども提案している。同決議は、コストの上昇、家畜頭数の減少、および農家への経済的圧力に対処することを目的としている。

〈分野別動向〉

1. 食品/Food

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
AI プラットフォーム (TraceMap) の立ち上げ	欧州委員会は、EU 域内に広がる食品の偽装や汚染、および食中毒発生などの検知能力の向上を目的とした人工知能 (AI) プラットフォーム「TraceMap」を立ち上げた。このシステムは、「RASFF (食品・飼料緊急警報システム)」や「TRACES (第三国から EU へ輸入される農産物・食品などについて、検査証明書や衛生証明書などを管理するオンラインシステム)」といった既存の EU プラットフォームからのデータを分析し、不審な取引パターンを特定し、サプライチェーンの追跡や製品のリコール迅速化に資するものとなる。TraceMap は、各国の当局によって利用され、農産品や食品全体に渡る安全性の管理や追跡調査に有益と言える。	欧州委員会: https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_26_584	2026/03/10

2. 環境/Environment

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
欧州気候法	EU 理事会は、「欧州気候法」の改正案を正式に採択し、2040 年までに温室効果ガスのネット排出量を 1990 年比で 90%削減するという法的拘束力のある目標を定めた。この措置により、2050 年までの気候中立に向けた EU の道筋が強化される。2036 年からは、1990 年の排出量の最大 5%相当に限定された国際炭素クレジットが、この目標の達成に寄与できるようになる。また改正法は、炭素除去やセクター間の柔軟性を促進するとともに、建物および運輸分野への排出量取引制度の拡大を 2028 年まで延期することとしている。	EU 理事会 : https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2026/03/05/2040-climate-target-council-gives-final-green-light/	2026/03/05

3. 農業/Agriculture

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
食品サプライチェーンにおける農業者の保護	欧州議会と EU 理事会は、EU の食品サプライチェーンにおける農業者の立場を強化するための新たな措置について暫定的な合意に達した。この交渉は、不公正な取引慣行に関する規則の見直しと一体的に進められてきた。内容的には、契約を生産コストとより密接に結びつけ、買い手との交渉における生産者団体の役割を強化することで、より公正な価格の確保を目指すものである。また、この暫定合意が得られた条文では、肉を「動物の食用部分」と定義し、ステーキやレバーといった名称は肉を含む製品に限定され、培養肉製品は除外されなければならないと規定するなど、より明確な表示規則としている。さらに、書面による契約の義務化を通じて酪農家を支援し、収入の安定化を図る条項も盛り込まれている。	欧州議会: https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20260302IPR36912/deal-on-measures-to-reinforce-farmers-position-in-the-food-supply-chain EU 理事会: https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2026/03/05/council-adopts-rules-to-combat-cross-border-unfair-trading-practices-in-the-agrifood-sector/	2026/03/05
農漁業理事会	2026 年 3 月 30 日に開かれた EU の農漁業理事会では、欧州委員会による「食と農業のビジョン」発表から 1 年を経た進捗状況を検証した。参加閣僚は、レジリエンス、競争力、食料安全保障の向上に向けた取り組みを評価するとともに、地政学的緊張、中東紛争、市場の変動、気候変動に伴う圧力などがもたらす課題にも言及した。また、世代交代、共通農業政策（CAP）の簡素化、および上述した通りサプライチェーンにおける農業者の立場を強化するための措置における進展を歓迎したが、さらなる行動を求めた。理事会はまた、貿易に関連する農業問題についても議論し、サプライチェーンへのリスクや生産コストの上昇を強調した。加盟国は、貿易協定におけるセーフガード措置、より強力な互惠ルール、国境管理の強化、および第三国に対する監査の強化を支持した。	EU 理事会: https://www.consilium.europa.eu/en/meetings/agrifish/2026/03/30/	2026/03/30

	また、自由貿易協定に関する最新の分析を求め、特に肥料やエネルギーといった投入コストを削減するための措置の策定を強く求めた。参加閣僚は、さらに、漁業におけるエネルギー転換についても議論し、投資と規制改革を強調するとともに、持続可能性と漁船団の生計のバランスを図るため、北東大西洋のサバの漁獲量を 299,010 トンに設定することで漁獲枠を修正することに合意した。		
--	---	--	--

4. 貿易/Trade

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
EU の 2025 年農産物・食品分野の貿易データ	EU の 2025 年の農産物・食品貿易は過去最高水準に達した。輸出額は 2,384 億ユーロに、輸入額は 1,886 億ユーロにそれぞれ増加し、貿易黒字は 499 億ユーロに縮小した。英国は引き続き EU の最大の輸出先であり、ブラジル、英国、米国が主要な輸入元となった。カカオとコーヒーの価格上昇が、貿易額の増加の主な要因となった。黒字幅は縮小したものの、EU は 2025 年も世界最大の農産物・食品の輸出国および輸入国の地位を維持した。	欧州委員会: https://agriculture.ec.europa.eu/document/download/94f6ec51-bae0-4807-bb48-828f38a46717_en?filename=monitoring-agri-food-trade_feb2026_en.pdf	2026/03/03
EU-メルコスール間の協定に基づくセーフガード規則の採択	EU 理事会は、EU・メルコスール間のパートナーシップ協定および暫定貿易協定に基づき、農産物に対するセーフガード措置を実施する規則を採択した。この規則により、メルコスール諸国からの輸入が EU の農業者に深刻な損害をもたらす恐れがある場合、EU は迅速に保護措置を導入することができるようになる。この規則では、調査を開始するための輸入増加率の閾値を 5%に設定することや、21 日以内に暫定措置を講じる可能性など、より迅速な手続きが導入されている。また、欧州委員会に対し、影響を受けやすい農産物の輸入を監視し、市場動向について定期的に報告することを義務付けている。	EU 理事会: https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2026/03/05/eu-mercosur-council-greenlights-safeguards-for-agricultural-products/	2026/03/05
EU-カナダ間のパートナーシップ強化	欧州議会は、地政学的な不安定性の高まりに対応するため、EU とカナダのパートナーシップ強化を求めた。欧州議会外務委員会は、安全保障、防衛、貿易、エネルギー分野におけるより緊密な協力を促した。また、ウクライナへの支援を調整し、ロシアに対する制裁を強化し、中国がもたらす課題に対処する必	欧州議会: https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20260306IPR375	2026/03/12

	要性を強調した。さらに、多国間機関を守り、北極圏における協力拡大を図る必要性も強調した。最後に、同委員会は、2027 年の発効 10 周年を迎える前に、また批准を終えていない EU 加盟国に対し、EU・カナダ貿易協定（CETA）を批准するよう求めた。	33/stronger-eu-canada-partnership-amid-global-turmoil	
EU-オーストラリア間の FTA 交渉の妥結	EU とオーストラリアは、「安全保障・防衛パートナーシップ」の採択と包括的な自由貿易協定（FTA）交渉を妥結させることで、両者の関係を強化する。両国はこうしたパートナーシップを通じ、海上の安全保障、サイバー脅威、危機管理、および新興技術に関する協力を強化する。FTA 協定は、関税の 99% 以上を撤廃し、市場アクセスを拡大するとともに、特に乳製品、自動車、化学製品の貿易の促進を目的としている。また、重要な原材料へのアクセスを確保し、輸出割当やセーフガードを通じて敏感な農業分野を保護するものである。双方はまた、オーストラリアの「Horizon Europe」への参加に向けた交渉を開始することで合意した。	欧州委員会： https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_26_645	2026/03/24
EU 関税庁の設置	欧州議会と EU 理事会は、フランスのリールに新たな EU 関税庁を設置することで合意した。両機関は、候補都市を絞り込む協議を行なってこの決定を下した。リールは、その戦略的な立地、充実した交通網、大量の貨物流量に対応した実績、そして同庁を誘致する準備が整っていることをアピールした。EU 関税庁は、2023 年に開始された広範な EU 関税法改正の一環として設立され、欧州関税同盟内の連携を強化することになる。同庁は、輸入事業者が通関に必要なデータを提出する EU の単一窓口として機能する「EU の中央税関データハブ」を管理する。そして、このデータを活用し、通関検査を引き続き実施する加盟国の関税当局と情報を共有し、EU 規制に反する違法な製品や麻薬の密輸などに関するリスク管理を包括的に行う。	欧州議会： https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20260323IPR38814/future-eu-customs-authority-to-be-headquartered-in-lille-france	2026/03/25
EU 関税法の改正	欧州議会と EU 理事会は、電子商取引の拡大、製品の安全性、および効率性への対応を目的とした EU 関税法の改正について暫定合意に達した。EU の消費者に商品を直接発送するオンラインプラットフォームは、輸入業者として扱われ、法令遵守の責任を負うことになる。EU 域外からの小包には新たな取扱手数料が適用される。また、今回の改革では、法令遵守企業向けの簡素化された「信頼と検証（Trust and Check）」制度を導入し、上述の通り、関税のデータハブを設立するとともに、調整とリスク管理を強化するため、リールに新たな EU 関税庁を設置する。	欧州議会： https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20260323IPR38815/deal-reached-on-union-customs-code-reform	2026/03/26

	欧州委員会は、この EU 関税法の改正（関税同盟の改革）に向けた欧州議会と EU 理事会間の暫定合意を画期的として歓迎している。この改革により、データ駆動型の関税制度が導入され、リスク管理が強化されるとともに、電子商取引による輸入の増加、不正行為、安全基準を満たさない製品といった課題に対処する。また、リールに新設される EU 関税庁が業務を調整し、中央税関データハブを管理することで、企業は情報を一度提出するだけで済むようになる。さらに、この改革により、低額小包に対する関税免除が撤廃され、取扱手数料が導入されるとともに、オンラインプラットフォームの責任が強化される。	欧州委員会： https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_26_735	
米国-EU 貿易協定	欧州議会は、2025 年 7 月に成立した EU・米国間の（ターンベリー）貿易協定における関税措置の実施に関する立場を採択し、米国産品の関税引き下げに関する厳格な条件を定めた。この提案では、米国産工業製品の関税の大部分が撤廃され、水産物および農産物の輸出に対してはセーフガード措置を条件として特恵的な市場アクセスが認められることになる。欧州議会は、米国が新たな関税を課した場合の停止条項、特惠措置の適用に先立って米国の遵守を求めるサンライズ条項、および更新されない限り 2028 年 3 月 31 日をもって措置を終了させるサンセット条項を導入した。セーフガード措置により、輸入が EU の産業に損害を与える場合、一時的な停止が可能となる。	欧州議会： https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20260323IPR38830/eu-us-trade-deal-meets-set-conditions-for-lowering-tariffs-on-us-products	2026/03/26

5. 公衆衛生/Public Health

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
殺生剤に関する規則	EU 理事会は、データ保護期間を延長することで殺生物剤に関する規則を合理化する提案に対する交渉方針を採択した。このデータ保護期間延長措置による規則合理化案は、健康、環境保護、および食品安全に関する高い基準を維持しつつ、行政上の負担を軽減することを目的とした EU の「オムニバス X」簡素化パッケージの一環である。延長により、データ保護は 2030 年 12 月 31 日まで行われる殺生物剤有効成分の継続的な見直し作業結果と整合させ、データ所有者へ公正な補償ができるようになる。同時に、EU の殺生物剤規則の全体的な評価に先立つことで、規制の確定性を支えることになる。	EU 理事会： https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2026/03/04/council-agrees-position-to-streamline-rules-on-biocides/	2026/03/04

銅化合物のリスク評価	欧州食品安全機関（EFSA）は、植物保護製品に使用される銅化合物の食事由来リスク（食べ物やサブリなどから摂取する銅及び銅化合物が、健康に与える危険性・悪影響）を評価するための統一的なアプローチを概説した技術報告書を発表した。銅は環境中の元素であると同時に必須栄養素でもあるため、EFSA は、さまざまな規制枠組下における消費者の曝露を評価するために、PRIMO 3.1 モデルを用いた段階的な手法を提案した。また、本報告書には、球根野菜、キャベツ、乾燥豆に関する事例研究も含まれており、この評価アプローチが実際にどのように適用できるかを示している。	EFSA: https://www.efsa.europa.eu/en/supporting/pub/en-9993	2026/03/09
遺伝子組み換え作物の承認	欧州委員会は、遺伝子組み換え大豆 1 品種について承認を与え、さらに遺伝子組み換え作物 3 品種（トウモロコシ 1 品種と綿花 2 品種）について、食品および飼料への使用を目的とした承認を更新した。この決定は、EFSA による科学的評価を受けたものであり、同機関はこれらの作物が従来の品種と同等の安全性を有すると結論付けた。今回の承認により、食品および飼料としての輸入は認められるが、EU 域内での栽培は認められない。承認の有効期間は 10 年間であり、EU の表示およびトレーサビリティに関する要件が引き続き適用される。	欧州委員会: https://ec.europa.eu/newsroom/sante/newsletter-archives/72991	2026/03/10
除草剤のリスク評価	EFSA は、小麦、ライムギと両者の交配穀物であるトリティカーレ（Triticale）に使用される除草剤クロディナフオップ・プロパルギル（clodinafop-propargyl）の農薬リスク評価に関する最新のピアレビューを発表した。このレビューは、ギリシャおよびドイツによる初期評価に基づき、規制上の承認に関連する主な知見、データの不足点、および懸念事項を特定した。また EFSA は、欧州委員会の要請を受け、作業員への曝露および当該物質の潜在的な内分泌かく乱作用に関する結論をアップデートした。	EFSA: https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/9871	2026/03/10
高病原性鳥インフルエンザ	EFSA は、現在発生している高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の流行を受けて、家畜部門に置けるリスクコミュニケーションとバイオセキュリティに関する報告書を発表した。この調査によると、養鶏農家や業界関係者間では鳥インフルエンザおよびバイオセキュリティ対策に対する認識は概ね高いものの、小規模養鶏業者や家庭用の鶏飼育者ではその認識が低いことが判明した。報告書は、バイオセ	EFSA: https://www.efsa.europa.eu/en/supporting/pub/en-9907	2026/03/10

	キュリティ対策の周知において獣医師が果たす重要な役割を強調するとともに、今後の EU による啓発・リスクコミュニケーションキャンペーンをより効果的に実施するため、6 つのステークホルダーグループを特定している。		
水質基準の改善 のため汚染物質リ ストの更新	欧州議会は、地下水および地表水の汚染を削減し、EU の水質基準を改善するため、より厳格な規則を採択した。同規制により、汚染物質リストが更新され、PFAS、医薬品、工業用化学物質、農薬が追加されるとともに、既存物質の基準値が引き上げられる。また、マイクロプラスチックなどの新興汚染物質や、抗菌薬耐性指標のモニタリングも導入される。加盟国は 2027 年 12 月までに国内規則をこの EU 規制に整合させなければならない。これらの措置は、EU の「汚染ゼロ」目標を支援するものであり、環境保護の強化、生態系の保全、公衆衛生の向上を目的としている。	欧州議会： https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20260323IPR38828/parliament-adopts-more-stringent-rules-to-reduce-water-pollution	2026/03/26
シペルメトリンの 農薬リスク評価	EFSA は、欧州委員会からの確認データ提出要請を受け、合成殺虫成分のシペルメトリン（cypermethrin）の農薬リスク評価に関する協議の結果を公表した。加盟国、申請者、および EFSA が共同で実施した本見直しでは、EU の農薬法に基づき提出された科学的意見および最新の証拠が検討された。ベルギーが報告担当加盟国として、協議の調整役を務めた。本報告書は、寄せられたフィードバックの要約を掲載するとともに、確認情報がシペルメトリンのリスク評価にどのような影響を与えるかに関する EFSA の科学的結論を提示している。	EFSA： https://www.efsa.europa.eu/en/supporting/pub/en-10010	2026/03/27

6. 漁業/ Fishing

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
海洋データの収集 と保護のための OceanEye	欧州委員会のフォン・デア・ライエン委員長は、世界の海洋観測・監視体制を強化するための新たな EU イニシアチブ「OceanEye」を立ち上げた。また、海洋データの収集と保護に協力する取り組みを支援するため、国際的な連携体制の構築を呼びかけた。EU は、2026 年から 2027 年にかけて、「ホライズン・ヨーロッパ」プログラムから 5,000 万ユーロを拠出する予定である。このイニシアチブ	欧州委員会： https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_26_507	2026/03/02

	は、EU の地球観測プログラム「コペルニクス」や「海洋のデジタルツイン」といった既存のツールを基盤とし、気候モニタリング、海上保安、およびブルーエコノミーの持続可能性の向上を目指している。		
漁業・養殖に関する統計の枠組み	EU 理事会は、漁業および養殖統計に関する欧州の枠組みを構築する新たな規則案に対する交渉方針に合意した。この提案は、EU 全域における漁獲量、漁船団、水揚げ量、および養殖生産量に関するデータの収集と活用を近代化することを目的としている。本措置は、既存の 5 つの規則を単一の枠組みに統合することで、一貫性、効率性、およびデータ品質の向上を図る。また、更新されたシステムにはデジタル技術や最新のデータソースが組み込まれ、持続可能な漁業管理とエビデンスに基づく政策立案に資するものとなる。	EU 理事会： https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2026/03/11/fisheries-and-aquaculture-council-agrees-negotiating-position-on-new-framework-for-statistics/	2026/03/11

7. アニマルウェルフェア/Animal Welfare

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
畜産部門の強化	欧州議会の農業委員会は、畜産業界を強化・維持するための新たな EU 措置を求める決議を行った。同委員会は、共通農業政策（CAP）の予算支援を維持するとともに、イノベーション、精密農業、生産性に焦点を当てた科学に基づく戦略を提案した。また、動物衛生分野における連携の強化、アニマルウェルフェアや健康、環境などの EU の基準を反映したより公正な貿易条件の確立、EU 産畜産物の販促活動の充実も求めた。その他の提案としては、ハイレベルな畜産グループの設置、ワクチン接種および疾病監視システムの強化、持続可能性への支援などである。この決議は、コストの上昇、家畜頭数の減少、および農家への経済的圧力に対処することを目的としている。	欧州議会： https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20260316IPR38221/meps-call-for-new-eu-measures-to-strengthen-and-sustain-livestock-farming	2026/03/18

8. ウクライナ情勢/The Situation in Ukraine

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
対ロシア制裁措置	EU の外交・安全保障政策上級代表は、多くの第三国がロシアに対する EU の最新の制裁措置に追随したことを発表した。2026 年 2 月 23 日に EU 理事会で採択された EU による制裁措置は、ロシア情勢を受けて、EU の制裁リストに 8 名の個人を追加するものである。アルバニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アイスランド、リヒテンシュタイン、モルドバ、モンテネグロ、北マケドニア、ノルウェー、およびウクライナは、自国の政策をこの決定に合わせることを確認した。EU は、制限措置への同調を維持するというこの対応を歓迎した。	EU 理事会： https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2026/03/05/statement-by-the-high-representative-on-behalf-of-the-eu-on-the-alignment-of-certain-third-countries-concerning-restrictive-measures-in-view-of-the-situation-in-russia/	2026/03/05

9. 食品包装・食品接触材/Packaging・Food Contact Material

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
PPWR	欧州委員会は、「包装および包装廃棄物規則（PPWR）」の実施を支援するためのガイダンスを公表した。これは、EU 全域で一貫した適用を確保し、行政上の負担を軽減することを目的としている。このガイダンスでは、定義、使い捨て包装に関する制限、食品接触材料における PFAS の基準値、再利用目標、および拡大生産者責任（EPR）の義務について明確化している。また、デポジット・リターン制度についても言及し、関係者向けの FAQ を掲載している。これらの規則は、増加する包装廃棄物の削減、リサイクル性の向上、および単一市場の強化を目的としている。効果的な導入に資するため、今後、追加の委任法および実施法が制定される予定となっている。	欧州委員会： https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_26_664	2026/03/30

10. 補助金/Aid

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
EU の補助金	欧州委員会は、2025 年の生育期に悪天候の影響を受けたブルガリア、エストニア、ハンガリーの農家に対し、2,150 万ユーロの緊急支援を拠出した。ブルガリアには 740 万ユーロ、エストニアには 330 万ユーロ、ハンガリーには 1,080 万ユーロが配分され、各国による共同出資が認められる。この支援は、主要作物を被害に遭わせた干ばつ、熱波、霜、および不安定な気象条件に対応するものである。各国当局は 2026 年 9 月 30 日までに資金を配分し、農家が直接恩恵を受けられるよう確保しなければならない。この支援金は、気候変動に関連する混乱に対処するため、共通農業政策（CAP）の農業予備金から拠出されるものである。	欧州委員会： https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_26_745	2026/03/30

11. その他/Others

タイトル/Title	概要/Summary	リンク/Reference	日付/Date
「設計による安全性と持続可能性（SSbD）」の改訂	欧州委員会は、より安全で持続可能な化学物質や材料の開発を支援するため、「設計による安全性と持続可能性（SSbD）」の改訂版枠組みを採択した。この改訂された勧告は、繊維、建設、エネルギー、エレクトロニクスなどの分野において、製品のライフサイクル全体にわたり安全性、持続可能性、機能性を組み込むことを目的としている。この枠組みは、企業や研究者に、イノベーションを導き、規制上のリスクを軽減し、市場への普及を加速させるための自主的なツールを提供するとともに、競争力があり、循環型で、有害物質のない産業経済という EU のより広範な目標を支援するものである。	欧州委員会： https://research-and-innovation.ec.europa.eu/news/all-research-and-innovation-news/strengthened-framework-safe-and-sustainable-design-chemicals-and-materials-drive-europes-clean-2026-03-06_en	2026/03/06

以上

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。E U輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、E U輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

本レポートに関する問い合わせ先： E U輸出支援プラットフォーム（ブリュッセル事務局）

Email : euplatform.brussels@eu.mofa.go.jp

Eurovision & Associates 作成

以上